

「年」になるのではないかと、言われているのを存じだろうか。働き方改革を推進している政府は柔軟な働き方のひとつとして、副業や兼業の推進を掲げており、今年からその整備に向けた議論・動きが活発化しているという。競合他社で働いたり、本業に影響を与えないことを条件にすでに取組む企業もスタートさせた企業もある。収入アップはもちろん、働きながらスキルアップしたい人にとっては、今後、副業が選択肢の

材不足の波が確実に押し寄せ、それを引き受けて大規模化する生産者も増えている。大型1200円でアルバイトの募集をかけても集手不足の状況にある

キルをじかに働きながら身につけられる。さらに副業は、基本的にいまある技術や趣味の延長線上を生かしながら、企業にとっても副業で学んだものを本業に生かす人材が増えれば、ますます副業を推進していく方向になる。これから米穀店があります。週末は農家になりやすいのでよろしく。終業時を過ぎた1丁関連の社員が、こんな風に話す二足・三足のわらじの時代が来るのかもしれない。

コメ業界の人材不足補う

「副業元年」到来か？

身につけるために積極的に副業を活用する可能性はあるだろう。とくに団塊世代が退職した構造的な問題が大きく、また高齢化などで農村を手放す担い手農家が、副業が本格化すれば「週末農家」も多くなりそうだ。需要に見合った生産が求められる農家にとっても、副業を活用すれば先進的

活動実り全国発信へ

消費拡大応援歌「お米マン」

食育とコメの消費拡大を企図した「お米マンプロジェクト」の応援歌「お米マンOKOMEMAN」が31日、(株)サンミュージック出版を通じて有名音楽ストアから配信される。1年前に米穀店経営者も参画する実行委員会を立ち上げ活動した取組は、さらに広

がる好機を迎えている。今回、全国配信されることになったお米マンOKOMEMANは、横浜市青葉区の少年少女合唱隊「あおはキッズ」が唄いながら歌う姿を1年ほど前からYouTubeにアップしている。有線やFM放送などでも流されてきた。

楽曲以外のこれまでの活動について作曲を担当した代表の小竹一臣氏(行政書士)は、「県が主催するイベントなどに参加している」と説明。昨夏は東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県仙沼市の復興イベントに参加し、被災地のコメを販売した。

実行委員会メンバーの坂本芳雄氏(株)坂本商店社長、神奈川県鎌倉市が、お米マンのイラスト(下写真参照)を大きく刷り込んだ2合パッケージを用意し、南三陸ひともばれを詰めて提供した。

同店では、活動に興味を持ってもらおうと贈答



イラストを米袋にも利用

品やノベルティにも提案して利用を促している。イラストを前面に出して企業名などは下の部分になるが、不動産会社

「関西オフィス」

営業強化へビジョ

コメや穀物の品種判別(株)塚脇博夫社長、本社や異物混入検査、DNA検査キットの開発などに5月5日、新たな営業拠点として「関西オフィス」



グルテンフリー商品注目(こまち協会)

読者最前線

早生良好も

▽早生品種の出来は良かったのだが、後半の日照不足や長雨により、晩生のコシヒカリも頑張りたい。(東北・A米店)